



平成 24 年 1 月 10 日

各 位

会社名 株式会社テクノシステムズ
代表者名 代表取締役 林 正幸
(証券コード 2456)
問合せ先
役職・氏名 常務取締役 谷口 光
電話 046-278-3650

金融支援（返済期限の延長）の要請に関するお知らせ

当社は、現在業績改善に向け抜本的な経営改革に取り組んでおりますが、この経営改革を着実に推し進めるためにキャッシュ・フロー改善による資金繰りの安定化を図るべく、取引先全金融機関様に対しまして、下記内容の金融支援によるご協力をお願いし、ご了承を頂ける見通しとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 金融支援を受けるに至った経緯

平成 22 年度から開始した健康関連事業での売上が低迷したこと、また不動産賃貸事業において借入人の不足状態が続き固定費が負担になったこと。これらに加えて、平成 23 年 3 月の震災の影響により本年度前半のソフトウェア請負、技術者派遣の受注・売上が減少したことによる業績悪化、及び売却予定であった不動産の売買契約が中止になり業績見通しが不明になったことにより資金調達が困難な状況になりました。

2. 負債の内容

借入先：借入先金融機関全 7 行

債務の種類：借入金

債務の総額：382,529,000 円

3. 金融支援の概要

各借入金について、以下のとおり借入金返済期限（借入期間）の延長を要請するものです。

(1) 借入先

借入先金融機関全 7 行

(2) 支援を受ける期間及び内容

平成 23 年 11 月～平成 24 年 10 月の 12 ヶ月間（一部の金融機関については、平成 23 年 12 月～平成 24 年 11 月の 12 ヶ月間）、約定返済元金を据え置き、借入金利息のみ返済する。

4. 再建計画の概要

(1) 経営が困難になった理由

業績悪化により資金調達先である金融機関への借入金返済が難しい状況となったためであります。

(2) 事業再構築計画（経営困難に陥った原因の除去を含む）の具体的内容

1) 固定資産の売却

- ・小田急桜ヶ丘駅前ビル（平成 23 年 5 月売却）
- ・賃貸マンション「コーポ鶴立」（平成 23 年 9 月売却）
- ・長野県飯田市工場用地（売却予定）

2) 固定費の削減

- ・健康関連事業の店舗（桜木町駅前）を閉鎖する。（平成 23 年 7 月）
- ・役員報酬の 20%カット（平成 23 年 9 月から）

3) 主力事業（ソフトウェア請負、技術者派遣）の強化（平成 23 年 11 月）

- ・社長が事業本部長を代行し陣頭指揮をする。
- ・技術教育を強化し、技術者の個人単価（売上）のアップと請負受注比率を向上させる。

5. 今後の見通し

弊社は、上記の金融支援（返済期限の延長）により財務基盤の強化を図ることが可能となります。

今後、事業再構築計画を確実に達成するよう最大限の努力をして、収益力の強化に邁進する所存でございます。

平成 24 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 24 年 2 月発表予定の「平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算短信」に反映致します。

以 上